

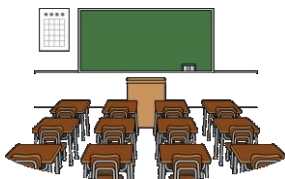


◆高校入学から

6ヶ月が経ちました

4月8日の入学以来、半年が経ちました。文字通り右も左も分からず、次の時間の教室移動に戸惑っていた4月(校舎内で迷子になっている1年生の姿はこの時期の風物詩です)。体育祭に向けてのクラスの活動や、部活動が本格化してきた5月。初めての高校の定期試験があり、多くの人が中学校の時と同じ試験勉強では対応が難しいことに気付いた6月。この6・7月は、本格的に高校生としての生活サイクルを送っているながら、身体的には2~3ヶ月前まで中学生だったというギャップから、気持ちの面でも体調の面でも疲れがあらわれた時期でもありました。夏休み中の準備を経て、9月初旬の文化祭、そして前期の修了。

みなさんそれぞれの半年をふり返って、思い描いていた通り(あるいはそれ以上?)に進められたこともあるでしょうし、ままたらない現状にモヤモヤしていることもあるでしょう。とにかく駆け抜けてきた印象のある前期に対し、後期は穏やかな滑り出しで、落ち着いて自分のペースで高校生活を進めていくことができます。勉強や学校生活のこと、もちろん学校外で独自に取り組んでいることも含め、この半年間、あわただしさゆえに出来ず仕舞いになってしまっていることに着手していきましょう。3月の合格者登校で配付した学年通信に、「課されたものだけを“やっていけばいい”という受け身ではなく、“あんなことにも!こんなことにも!”と手を伸ばし、挑戦してみてください」と書きました。「そうだったなあ…」と頭に思い当たることが、誰もが1つや2つ、持っていると思います。気候も良く、学校のペースにも慣れた今こそ、それぞれの“悉有”の開花に向けて仕切り直しのチャンスです。



ところで、進路講演会で「1年生の秋は、成績の変動が比較的大きい時期」という話があったことを覚えていますか?その理由は「入試の貯金」と「学習サイクル」にあります。前者については、高校受験に向けて一生懸命頑張ったことで学力の貯金ができていたものが、夏頃には貯金が目減りし、秋頃には底をついてしまう現象を指します。後者については、学習サイクルを確立することで、入学後に徐々に学力を蓄えてきたことを指します。いわゆる“1学期”の部分で学習サイクルを確立していったか(または、サイクルを確立すべく模索しながら取り組み続けられたか)どうか。夏休みに、1学期部分の手が回らなかったところを取り戻せたかどうか。これらに取り組んできた人は、貯金の効果が薄れることなく、合格時の勢いを維持または伸ばすことができています。逆に、不十分であった人は貯金の効果が薄れるばかりで、その後の積み上げができません。このようにして、「秋には成績変動が大きい」という話が成り立つのです。

◆試験の解き直しは進んでいますか?

以前の学年通信「悉有」第4号(5/13)と第6号(6/23)で、「改めて問題を解き直したら、全問正解できますか?」と書きました。前期期末試験終了から、この1週間でだいたいの科目の答案が返ってきているはずですが、後回しにすればするほど、モチベーションも取り組む意義も失われていくので、“毎日1科目ずつ解き直す”“10月〇日までには全科目解き直す”といった具合に、コンスタントに、かつ期限を決めて取り組んでいきましょう。ちなみに、この解き直しの予定は、漠然と“思っている”だけでなく、スケジュール帳に書き込んで可視化することが大事です。「計画までは立てられる、それを

実行に移すところが生野生は苦手」と、4月の浅田校長の話にもありましたよね。実行に移せたならば「平日 90 分・休日 120 分」なんてあっという間に超えられますよ。

ここで、漠然と“解き直し”と言われても何をすればいいのか分からない人へ。解き直しは、模範解答を写したり覚えたりする“作業”ではありません。時間無制限で構いません。教科書やノートを見ても構いません。習ったどの内容を使えば正解を導けるのかを明確にしていく“営み”が解き直しです。試験問題はあくまで材料にすぎず、解き直しを通じて今回の範囲の学習内容を整理し、理解を深め、使えるようにすることを意識してください。この営みは、1週で完璧にできるものではありません。何周も続けていくうちに、補わなければならない箇所が徐々に減っていき、完成に近付いていくものです。次の機会に同様の問題と対峙した時、前期中間・期末試験の時よりも答えられる部分が増えていけば、解き直しは成功ですよ。11/7(月)の進研模試を、解き直しの効果を確認する絶好の“次の機会”に位置付けましょう。

◆いよいよ文理選択本番へ

10/20(木)の5限 LHR は、体育館で2回目の文理選択説明会です。6月に1回目の説明会があり、2年生に向けて文系と理系の選択、さらに文系の中でも世界史 or 日本史の選択、理系の中でも理Ⅰと理Ⅱの違い、理科の選択について説明を聞いてもらいました。探究Ⅱの選択もあります。

- ・5月 進路講演会① (ベネッセ)
- ・6月 進路講演会② (河合塾)
- ・夏休み オープンキャンパス・大学探訪の課題
- ・9月 入試科目調べ

—このように、その時々でしっかりと進路 HR に向き合ってきた人は、文理・科目選択本番に向けて、一つずつステップを進めてきているはず。2年生に向けての選択で、大学受験の型の全てが決まる訳ではありませんが、大まかな方向性は定まってきます。

文理選択の最終め切は 11 月下旬です(詳細は 10/20 に説明します)。まだはっきりと決まり切っていない人は、これからの1か月間、しっかりと授業に参加し、学習に取り組んで、自分の進みたい方向を見定めましょう。自分の進む方向は、誰も自分ほどには悩んでくれませんが、誰も決めてはくれませんが、自分の進む方向を一番悩んであげられるのは自分であり、決めてあげられるのは、自分です。

◆合唱コンクールは中止です

1/27(金)の午後に予定していた「合唱コンクール」を中止とします。みなさんに配付した後期授業予定では実施の形で予定が組まれていますが、中止に変更します。みなさんから保護者にも伝えてください。

例年、校外でホールを借りて実施していた行事ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、75期・76期に続き、77期でも実施はやはり困難と判断しました。新型コロナウイルスが、より感染しやすいタイプに変化し続けていることを受け、舞台上でクラス全員による合唱に難しさがあるだけでなく、体育館の一部工事が今冬に予定され、練習場所の確保や過密度合いの解消にも難しさが伴うようになり、中止の判断に至りました。楽しみにしていたみなさん、保護者の方には申し訳ありませんが、何卒ご了承ください。

なお、代替の学年行事を現在検討中です。

◆当面の予定

- 10/14(金) 大掃除・ワックスがけ (雨天時延期)
- 15(土) 学校見学会
- 17(月) 代休日
- 20(木)LHR 文理選択説明会
- 22(土) 大阪サイエンスデイ (天王寺高校)
- 28(金) 前期成績表返却 (予定)
- 11/7(月) 進研模試